

## 1. 令和5年度 「ながさき農林業大賞 農林水産大臣賞及び長崎県知事賞」受賞者の概要

部門名	受賞者(組織)名	市町	概要
施設野菜	ほんだ 衛治 ほんだ ゆうこ ほんだ 裕子	南島原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜冷と株冷の作型を組合せ労働力の分散をはかり、いちご栽培としては78.5aと大規模面積でありながらも、高い単収を実現。</li> <li>・環境制御技術等を導入することで、いちご品種「ゆめのか」において、10aあたり8,776kgという全国でもトップクラスの単収を実現し、かつ秀品率についても99.1%と極めて高品質ないちご生産を実践。</li> <li>・市場からのニーズの高い定数詰め徹底と併せ、輸出用に活用される3L平パック規格の出荷にも積極的に取り組み、本多氏の平パック出荷量は部会全体の8.9%を占めている。</li> <li>・規模拡大に際しては遊休ハウス活用と自家施工による低コスト化を図るとともに、栽培施設の集約、高設栽培導入による軽労化、外国人材等を活用した雇用型経営を実践し、地域内の模範となっている。</li> </ul>

## 2. 令和5年度 「ながさき農林業大賞 長崎県知事賞」受賞者の概要

### (1) トップファーマーの部

部門名	受賞者(組織)名	市町	概要
露地野菜	きむら まこと 木村 誠	雲仙市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レタスを中心に大規模な露地野菜経営を行っており、平成30年度から諫早湾干拓地に入植し、継続的な環境保全型農業に取り組むとともに、大規模基盤整備地での集約化栽培により、大幅な作業効率化を実現している県内トップクラス規模の個別経営体。</li> <li>・省力化取組として、ブームスプレーヤー防除、鉄コンテナ出荷、地元人材や外国人材の周年雇用といった先進的な取り組みも実施。</li> <li>・組合長を務める鷹博農園(組合員5名)は、実需者ニーズに対応してJGAP集団認証を取得しており、取得を主導的に推進。契約出荷についても積極的に取り組んでいる。</li> </ul>
果樹	ふるかわ きみひこ 古川 公彦 ふるかわ みゆき 古川	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・露地みかん、加温ハウス、無加温ハウス、中晩柑を組み合わせた大規模なカンキツ経営を行っており、作業の効率化のため園内道整備やスピードスプレーヤー等の省力機械を積極的に導入。</li> <li>・露地みかん全園で園地登録園制度での管理を実施し、高品質の「味っ子」、「味まる」等のブランド率が78.4%と部会内で上位クラスの成績を上げている(令和4年部会平均64.6%)。</li> <li>・さらなる品質向上のため、ルートラップを用いた根域制限栽培や佐賀方式根域制限栽培など新しい技術を導入し、地域の先導的役割を担っている。</li> <li>・ながさき西海農協させば地区かんきつ部会長、長崎県JA果樹研究会会長を歴任し、リーダーとして本県の果樹産地振興に大きく貢献。</li> </ul>
花き	のだ しんいち 野田 伸一 のだ けいこ 野田 桂子	諫早市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内で初めてスカビオサの本格栽培を開始し、品種選定を行いながら、交配によるオリジナル系統を多数作出。自らが求める特性を持つ品種の育成と、それに合わせた栽培方法、増殖技術を独自に開発しながら、高い収益が見込める品目として技術確立を行った。</li> <li>・オリジナル品種については、他にない花色展開により市場の評価も非常に高く、海外への輸出にも取り組んでいる。</li> <li>・全国的にも少ないフェンロー型ハウスをいち早く導入し周年で安定的に栽培できる環境を整えるとともに、環境制御機器を活用した統合環境制御栽培を実践、単収27万本と全国でも抜きでた収量をあげ高い生産性を実現している。</li> <li>・生産組織のリーダーとして、地域農業者のリーダーとして活躍するとともに、農業士として地域農業後継者の助言・指導を行うなど、本県花き及びの地域農業振興に大きく貢献。</li> </ul>
畜産	かぶしきがいしゃ 株式会社 たかだ ぼくじょう 高田牧場	南島原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南島原市で肉用牛の大規模一貫経営(繁殖牛120頭、肥育牛900頭)に先進的に取り組んでおり、平成21年に法人化している。黒毛和種、褐毛和種、交雑種などの多様な品種を飼養し、一般肥育や老廃肥育など素牛の状態に応じた生産方式を採ることで多彩な牛肉を生産している。</li> <li>・飼養管理では、HACCP農場に認定され、子牛の育成から肥育まで適正かつ高度な衛生管理を行っており、子牛の育成から良質粗飼料による胃袋づくりを徹底し、枝肉は歩留まりと重量で優秀な成績を出している。また自給飼料生産と未利用資源(焼酎粕などのエコフィード)利用、さらに混合飼料施設を整備して低コスト生産に取り組んでいる。</li> <li>・牛肉は精肉の卸も取り組んでおり、スーパーや飲食店と契約し、相手方のニーズに応じて、高級肉から裾ものまで幅広い牛肉の提供を行っている。また「雲仙和牛」の商標登録を取得し、赤身とサシのバランスの取れた肉をキャッチフレーズにブランド化している。</li> <li>・農大生の受入れや自立を目指す新規就農者を積極的に雇用し、規模拡大による肉用牛産地の維持拡大など肉用牛振興に寄与している。</li> </ul>

部門名	受賞者（組織）名	市町	概要
農産	のうじくみあいほうじん 農事組合法人 かつもと 勝本	吉野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水稲、大麦、大豆を中心に、飼料作物の受託栽培にも取り組んでいる集落営農法人。</li> <li>・水稲は 高温耐性品種を中心に、作期を分散して効率的に栽培している。また地元の酒造会社と連携し焼酎用原料として求められる品質の麦生産を行っている。</li> <li>・水田での大豆の収量向上安定生産技術として部分浅耕播種栽培技術に県内に先駆けて取り組んでおり、吉野地域大豆単収・品質の向上に貢献している。</li> <li>・水稲（つや姫）、大豆は、特別栽培と環境保全型農業（IPM）に取り組み、肥料・農薬の低減、国際水準GAPを積極的に実践し、吉野地域における産地確立の一翼を担っている。</li> <li>・圃場管理システム Z - GIS を導入し、540筆の圃場管理を行い、品目ごとに地図化し、農作業の効率化に取り組んでいることで高い労働生産性を実現している。また、作られなくなった集落内の農地集積を進め、遊休農地解消にも取り組んでいる。</li> </ul>
特産	おのうえ 尾上 おのうえ 尾上 かずひこ 和彦 みき 美紀	東彼杵町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就農後、茶園や山林を購入して茶園の大区画化を図り、規模拡大に積極的に取り組み、現在では820aまで増加しており、県内最大規模の個人経営体。</li> <li>・県内でもいち早く新品種「つゆひかり」、「さえみどり」を導入するなど、優良品種への改植を積極的に進め、早生品種から晩生品種まで幅広く植栽することで、作期の分散化による適期摘採が行われており、高品質茶生産を行っている。</li> <li>・地道な土づくりときめ細やかな茶園管理が評価され、県茶園共進会では、常に上位入賞し地域の茶栽培の模範となっている。</li> <li>・また、品評会でも常に上位入賞し、全国茶品評会の蒸し製玉緑茶の部で、日本一となる優等一席農林水産大臣賞を2回（平成29年度第71回、令和4年度第76回）受賞するなど、自らの茶のみならずそのぎ茶ブランドの全国での認知度向上・確立に貢献している。</li> <li>・平成30年に、地域の若手生産者とともに需要が高まっている碾茶生産に取り組む（株）FORTHEESを設立。碾茶の海外輸出への取組を先導し、アメリカやオランダでのプロモーション活動を積極的に行った結果、（株）FORTHEESは県内最大の茶の輸出事業者となった。</li> </ul>
しまの 農林業 経営	かめやま 龜山 かめやま 龜山 みつたか 光孝 せいこ 青子	五島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉たばこ210aを中心に麦100a、かんしょ70a、高菜20aを経営する複合経営体で、基盤整備地に農地を集積し、葉たばこにおいて、機械化一貫体系によりモデル的な経営を展開し、労力不足を補うために繁忙期には（株）エヌからJAに派遣された外国人労働者の労力を活用。</li> <li>・葉たばこでは、機械化、共同育苗、共同乾燥施設利用等による省力化、輪作、排水対策、リビングマルチ、適切な残渣処理等による病害虫対策、さらに適期作業の徹底による高品質・安定生産を実践し、県内でもトップクラスのAタイプ率を達成。</li> <li>・令和4年から五島地域で青果用かんしょの生産が開始されており、JAごとう契約甘藷部会の初代部長として、導入、栽培、契約販売に向けた各種取り組みを先導し、地域の活性化に貢献。</li> <li>・葉たばこ、かんしょにおいて、労力が競合する時期の労力分散のための品種選定や省力化体系を構築し、離島地域で安心して栽培できる全量契約販売を実現するなど、地域リーダーとして地域農業の発展に大きく貢献。</li> </ul>

(2) いきいきファームの部

部門名	受賞者（組織）名	市町	概要
産地 集団	つしましんりんくみあい 対馬森林組合	対馬市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模森林所有者を取りまとめ、森林経営計画作成により提案型集約化施策を進め、森林施策プラン書を活用した小規模森林所有者の面的集約化に成功し、作業の機械化及び効率的な作業道開設を組み合わせ、生産コストを低減。</li> <li>・対馬の素材生産業者・製材業者で組織する「つしま森林再生協議会」や、県産材の流通体制の構築を進める「長崎県地域材供給倍増協議会对馬支部」等の地域組織の代表も務め、地域林業を牽引。</li> <li>・県内でもいち早く現業職員（林業専門作業員）に月給制を導入しており、さらに近年は週休2日制の導入や手当の見直し等、職員の待遇改善に取り組み、安心して働く環境の整備において、県内の模範。</li> <li>・木材の販売については、採材研修など積極的に行うことで技術を着実に向上させ、単価が高い用途の割合を増やし、木材の利用価値を高め、取引先への安定出荷と売り上げの増加を実現。</li> <li>・地元高校との連携により林業体験授業やインターンシップ受入も行っており、地域における仕事としての林業PRを積極的に行い、地元就職・人口減対策につなげる取組も行っている。</li> <li>・本組合は県内の木材生産量の45%を占める対馬の中心的な役割を担い、県全体を牽引し、本県の適正な森林管理による林業の振興及び森林の持つ公益的・多面的機能の発揮に大きく寄与。</li> </ul>

部門名	受賞者（組織）名	市町	概要
地産地消・食農	かぶしきがいしゃ 株式会社 そのぎ しょう 彼杵の荘	東彼杵町	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年にオープンし、土地と建物は町が保有、経営を「株式会社彼杵の荘」が行う公設民営直売所。施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症や施設改修工事等の影響もあり一時減少したが、駐車場の整備などもあり直近の利用者数や販売額については5年前と比べ概ね横ばいを維持。</li> <li>直売所のスタッフによる高齢生産者の巡回集荷を行いつつ、「消費者の声」を届けることにより、生産者の生産意欲の継続に繋がっている。また、東彼杵町の特産である「そのぎ茶」や苺を使ったスイーツの販売や、個々の生産者のお茶を買い求めることができる「お茶コーナー」も設置しており、店内でのお茶の売上については、年々伸びている。</li> <li>定期的なイベントとして、お茶の生産農家が「お茶を急須で提供する試飲」により「そのぎ茶ファン」の拡大に繋がっている。また、郷土料理「クジラのたご汁」は併設するレストランで常時食べることができるが、年1回のイベントでは無料提供もしている。</li> <li>食育の推進として、学校からの要請により地元小学生を対象に、毎年、芋ほり農業体験を行うほか、職員が小学校に出向き、東彼杵町の農業やSDGsに関する講話を行っている。</li> <li>環境保全・資源循環の取組として、山間部の放棄竹林対策として、生産者と共働で竹パウダーを作り販売、また竹パウダーを利用した野菜の販売も行うなど、地域と密着した活動を軸に今後のさらなる取組が期待される。</li> </ul>

### (3) げんきビレッジの部

部門名	受賞者（組織）名	市町	概要
農山村地域保全	どう ひりんぎょう 東彼林業 けんきゅうかい 研究会	川棚町 波佐見町	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和59年に設立し、林業に関する知識の習得並びに研鑽を重ね、林業の振興と緑化推進に寄与することを目的で活動を行っており、その一環として、ハランの生産販売に積極的に取り組んでいる。</li> <li>東彼地区の豊富な森林資源における森林の有する多面的機能の発揮や地球温暖化防止対策として、森林整備の必要性が高まる中、森林組合と連携して約80haの森林施業集約化を実施するなど、森林整備の推進役として地域の林業に貢献。</li> <li>地域の森林資源における林間でのハラン栽培に県内でいち早く取り組み、地域ブランドとして確立させた中、地域イベントにて植栽体験等の森林体験学習を実施することにより地域内外の人とのつながりを育み、地域と共同的な関係を築き、地域活性化の役割を担っている。</li> <li>特筆する点として、生産において懸念事項であった「シマハランの青葉化」の課題解決のため、県農林技術開発センターの協力を仰ぎ、「クローン増殖技術（1節挿し増殖法）」の確立により生産向上を目指し、その取組を研修会で発表するなど、意欲的に活動を行っており、その結果、令和4年次の県内産ハランの7割以上のシェアを誇る。</li> <li>農山村モデル地域として注目を集めており、県内はもとより、県外からも多数の視察を受け入れており、他地域へハラン苗の譲渡及び栽培技術の指導を行うなど、他地域の模範となっている。</li> </ul>

### 3. 令和5年度 「ながさき農林業大賞 運営委員会長賞」受賞者の概要

#### (1) トップファーマーの部

部門名	受賞者(組織)名	市町	概要
露地野菜	きのした りゅういちろう 木下 隆一郎	諫早市	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年の就農開始以降、基盤整備地、遊休農地解消により作付面積を2倍に拡大しており、県央たまねぎ部会トップの作付面積、出荷量である。</li> <li>高単価販売、低農薬栽培が可能な超極早生、極早生たまねぎ中心の経営にシフトしてきているほか、省力化機械の導入や個人育苗取組といった点でも部会内の先導的な生産者である。</li> <li>土壌改良及び諫早湾の水質改善のため、たまねぎ後作での緑肥栽培にも積極的に取り組んでいる。また、地域リーダーの一人として、有害鳥獣対策等の地域取組にも貢献している。</li> </ul>
施設野菜	ひら としき 平 利樹 ひら まゆみ 平 真由美	長崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設野菜の経営品目を複数(いちご、ハウスすいか他)にすることでリスクを分散し、経営安定を図っている野菜専門の経営体。</li> <li>地域でもいち早く環境制御技術を取り入れ、部会内に積極的に推進。令和元年には、統合環境制御装置を導入しデータを基にしてハウス内の機器類を一体的に制御する環境を整えた。</li> <li>生産者自らが考える部会組織にするため、平氏が現地検討会は全圃場で開催することを提案し、現在も実践している。部会全体で単収向上を図り、県内1位の産地を維持しながら単収をさらに向上。さらに環境データを部会員全員が共有できる体制を整備することで、部会員同士の情報交換が活発となり、部会全体の単収向上に寄与した。</li> <li>就農希望者を地域として積極的に受入れ手厚い支援を行うことで、部会員が4年間で10名増加。部会長として若手が発言しやすい環境を整えていることで、新規の継続的な加入に繋がっており、産地の発展に寄与している。</li> </ul>
果樹	ほり あきとし 堀 秋利 ほり えり 堀 衣梨	諫早市	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハウスみかんを中心にした経営を行っており、近隣の休園していたハウスを借受け、規模拡大を行っている。</li> <li>老木園の改植に積極的に取り組み、継続したハウスみかん経営を見据えている。</li> <li>天井ビニールの3重化や循環扇による温度ムラの解消等の省エネ対策を実施している。</li> <li>平成19年から令和2年まで農業士に任命され、地域農業振興に大きく貢献。</li> </ul>
花き	くりばやし けんいち 栗林 健一 くりばやし あきこ 栗林 亜紀子	雲仙市	<ul style="list-style-type: none"> <li>有機質資材、土壌改良材、土着菌、乳酸菌を活用した自家製微生物資材を投入するとともに、緑肥作物との輪作を行い、徹底した土づくりを実践し、土壌病害の発生を抑制。トルコギキョウでは連作障害で取組が減少している2度切り栽培を行い高収益栽培を実現している。</li> <li>トルコギキョウの自家育苗では、全国的にも導入の少ないパーポットで大苗育苗を行い初期生育を充実させることで品質向上を図っている。</li> <li>環境制御機器を導入し、炭酸ガス施用、湿度管理により花卉の強い切り花生産を行っており、市場からも高い評価を得ている。</li> <li>農大生、農高生の研修受入れるとともに、新技術を意欲的に導入するなど、県内花き若手農業者の技術的な模範となっている。</li> </ul>
畜産	かぶしきがいしゃ 株式会社 まつもと 松本ポ ー リー	島原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>島原市有明町で採卵鶏経営に50年以上取り組み、現在の代表は3代目で成鶏125,700羽を飼育し、平成27年に法人化している。特徴的な経営は、生産以外に、加工、販売も実施している。</li> <li>飼養管理では、鶏の健康を第1に考え、抗生剤を使用せず、78種類以上の天然素材にこだわり、またコンサル獣医の指導を受けながら、優良な採卵成績をあげている。また未利用資源(焼酎粕などのエコフィード)や、LED照明、自動給餌機等の活用により省力低コスト化にも取り組んでいる。</li> <li>G P施設(洗卵選別包装システム)も導入し、5種類の特殊卵は機能性成分も高く、自社販売を行っている。またロゴマークを作成しブランド商標登録を行い、全国の百貨店等への固定客も確保し、直売所、HP、SNSによる販売と消費者との交流も行っている。</li> <li>地域での雇用のほか、外国人材も積極的に活用し、労力確保による適正な労働環境に努めている。また近隣の廃業養鶏農家の鶏舎を引継ぎ、市の養鶏業の振興にも寄与している。</li> </ul>
畜産	まえかわ つねたろう 前川 常太郎	平戸市	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産農家の2代目として、平戸市で繁殖牛62頭を飼育している。就農前は地元農協の営農指導員の立場から技術の波及や地域の和牛生産に貢献してきた。</li> <li>飼養管理では、母牛の血液性状を基にした飼料設計や超早期母子分離に取り組んでおり、分娩間隔は日本一となっている長崎県平均と同等の優良な成績を収めるとともに、子牛の価格も市場平均よりも高額で販売されている。</li> <li>自給飼料の生産のほか、ICT機器(牛群管理や分娩監視のためのカメラ)や、ゲノミック育種価の活用など、先進的な技術にも取り組んでいる。</li> <li>修学旅行生等を対象にした体験学習を受入れや、若手生産者グループの勉強会への参加のほか、全国和牛能力共進会では過去2大会で上位入賞するなど、地域の肉用牛振興に寄与している。</li> </ul>

部門名	受賞者（組織）名	市町	概要
農産	かわぐち ふとし 川口 太 かわぐち しゅういちろう 川口 秀一郎 かわぐち とよこ 川口 豊子 かわぐち さき貴 川口 沙貴	諫早市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諫早湾干拓地の大区画圃場を活用した麦、大豆の大規模土地利用型経営を中心に、水稲、施設栽培（いちご）に家族経営で取り組んでいる。</li> <li>・麦、大豆では大型機械によるスケールメリットを活かした農業を営んでいる。いちごでは全面積で高設栽培、自動谷換気設備など省力、低コスト化に取り組んでいる。</li> <li>・また共同所有する土壌分析機械を活用した分析データに基づく施肥を実施し、施肥コストと環境負荷の低減に務めている。</li> <li>・地域の農業者と連携調整し、作付け計画の協議や連作障害に苦慮している農業者との圃場の交換を行うことで、相手の安定生産にも寄与している。</li> </ul>
特産	たかなぎ よしゆき 高柳 善幸 たかなぎ のりこ 高柳 法子 たかなぎ ぜんご 高柳 善伍	南島原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南島原市で葉たばこ300 a、露地野菜・雑穀他100 aを栽培する経営体。</li> <li>・高架型作業機他、多工程同時作業ができるトラクター、移植機の導入等により、地域に先駆けた省力化を実現。品種特性を把握し、収量・品質を最大にする適期収穫を行うなど、モデル的な農家として地域生産者への技術の波及効果は高く、南島原市の販売単価日本一に大きく貢献。</li> <li>・雲仙普賢岳大火砕流からの復興では消防団活動で地域貢献しながら葉たばこの復興に尽力した。後継者は青年農業者として地域単協で積極的に活動し、市連、県連でも役員として活躍するなど長崎県の青年農業者活動を牽引。次世代の葉たばこ農家のリーダーとして今後の活躍が期待される。</li> </ul>

## (2) いきいきファームの部

部門名	受賞者（組織）名	市町	概要
産地 集団	ながさきけんおう 長崎県央 のうぎようきょうどうくみあい 農業協同組合 ちくし 小串トマト くみあい 組合	川棚町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当組合は、組合員数5戸、1戸あたりの平均作付規模は42 aの小規模な組合であるが、高い栽培技術力を活かして高糖度トマトを生産。糖度測定可能な光センサーを導入した選果場で共同選果体制を構築し「小串トマト」ブランドを作り上げ、高単価を維持。</li> <li>・平成30年度には全戸でモニタリング装置を導入し、環境制御技術の勉強会を積極的にを行うことで、新たな技術の習得と後継者を育成。</li> <li>・出荷先の市場においても「小串トマト」の評価は高く、安定した取引先を確保。</li> <li>・町内においてもブランドが認知されており、町内の飲食店では、小串トマトやその加工品を使用したメニューの提供が行われ、町の活性化にも大きく貢献し、県内産地の参考になる優れた組織。</li> </ul>

## 4. 令和5年度 「ながさき農林業大賞 特別賞」受賞者の概要

### (1) 特別賞

部門名	受賞者（組織）名	市町	概要
特別 部門	かたやま ひろのぶ 片山 博信	大阪市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市中央卸売市場内で、大阪中央青果株式会社の販売担当として長年にわたり従事し、中部・関西地域における長崎県産いちごなどの販路拡大や本県産ブランドみかんの関西での販路開拓に尽力。</li> <li>・平成28年から「長崎県産品ブランド化・流通戦略実施本部アドバイザー」として、本県青果物の販路拡大の取組やブランド化・流通対策への提言等により、大阪市中央卸売市場の取扱高だけでなく、本県農業産出額の増加に貢献。</li> <li>・平成27年から令和4年まで、「ながさき農林業・農山村活性化計画推進委員」として、「活性化計画」の策定や進捗への提言などを通じ、本県農林施策の推進に大いに貢献。</li> <li>・現在も、JA全農ながさき中部・関西ながさき会会長、長崎県産品ブランド化・流通戦略実施本部会議アドバイザーとして、引き続き市場流通の最前線の知見を基に、長崎県産農産物の販路拡大・ブランド化への貢献が期待される。</li> </ul>
特別 部門	いっばんしやだんほうじん 一般社団法人 ながさきけんりょうゆうかい 長崎県猟友会	長崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内で唯一、狩猟にかかる法令及び猟具等に関する専門的知識を有する団体として、県とも連携し捕獲従事者の確保育成、法令順守、安全対策の普及啓発等に取り組む。</li> <li>・長崎県猟友会による捕獲従事者の確保の取組などにより、狩猟免許所持者数の増加に貢献。</li> <li>・捕獲従事者育成の取組などにより、本県のイノシシの捕獲頭数は年間4万頭前後と高い捕獲圧を維持しており、本県の農業の維持発展に多大な貢献。</li> <li>・市町と連携し、農作物被害対策としての3対策（防護、棲み分け、捕獲）の一つの柱である捕獲対策を主に担うとともに、近年増加傾向の、野生動物の市街地出没時の対応等についても、重要な役割を担っている。</li> </ul>